

諸外国の喫煙対策での数値目標②

- EU: 喫煙を減少させるための特定の目標を推奨
 - 欧州議会とカウンスルへのコミュニケーションとして
 - 公衆衛生全般のポリシーの中で、喫煙について
 - アイルランドの例(20%程度の削減)を提示
- アイルランド: たばこ行動計画(5カ年:2002年策定)
 - 少年、妊婦、成人、労働層で非喫煙者の割合を設定
 - 成人で非喫煙を73%(2000/01)→75%(2006/07)へ、など
- フランス: 2003-7年の省庁連携のがん計画の中で
 - 70項目中9項目がたばこ対策
 - 若年層で30%、成年で20%減少させる
- ドイツ: 2010年へのアジェンダ(保健全般)
 - 分野別の対策を明記するも数値目標は見当たらず
- イタリア: 2003-5年の国の保健計画
 - 分野別の対策を明記するも数値目標は見当たらず
- スペイン: 2003-7年の国のたばこ対策
 - 分野別の対策を明記するも数値目標は見当たらず
- ブラジル: たばこと他のがんリスク要因対策
 - 分野別の対策を明記するも数値目標は見当たらず

都道府県健康増進計画における喫煙率に関する目標項目について

(平成18年4月1日現在)

	都道府県名	指標の目安等	現状	目標	備考
1	北海道	〈喫煙している成人の割合〉 男性 女性	44.8% 12.1%	男女とも全国平均以下	平成16年度健康づくり道民調査
2	青森県	設定していない	—	設定していない	
3	岩手県	成人の <u>非喫煙率</u>	76.50%	80%以上	基準値 73.9% 中間(現状)値76.5% 〈調査〉 基準値:平成11年県民生活習慣実態調査 中間値:平成16年県民生活習慣実態調査
-15- 4	宮城県	禁煙希望者への支援による <u>非喫煙率の増加</u> 男性 女性	50.0% 86.5%	62% 92%	平成17年県民健康調査による
5	秋田県	設定していない	—	設定していない	
6	山形県	設定していない	—	設定していない	
7	福島県	男性 女性	40.0% 11.8%	「喫煙率半減」をスローガンに、喫煙率の減少が大幅に進むよう努める	現状値:平成17年度県民健康調査 基準値:男性 51.7%、女性 9.1% (平成9年福島県成人歯科疾患実態調査)
8	茨城県	〈喫煙者の割合〉 男 女 〈20歳代の喫煙率〉 男 女	53.8% 10.6% 70.0% 12.0%	20.0% 3.0% 35.0% 12.0%	茨城県総合がん対策推進モニタリング調査(平成16年3月) ※喫煙本数を減らしたい、やめたいという人が全員禁煙に成功したと仮定して、設定した目標値。
9	栃木県	設定していない	—	設定していない	
10	群馬県	設定していない	—	設定していない	

	都道府県名	指標の目安等	現状	目標	備考
11	埼玉県	設定していない	—	設定していない	
12	千葉県	〈喫煙している成人の割合〉 男性 女性	43.5% 12.3%	35.1%以下 9.7%以下	平成12年千葉県生活習慣状況調査 ※禁煙(節煙)したい人のうち、禁煙プログラムに導き成功した者を減少分と考える。
13	東京都	成人の喫煙率／男性 成人の喫煙率／女性	38.9% 12.9%	下げる	平成16年度東京都民の健康・栄養調査
14	神奈川県	設定していない	—	設定していない	
15	新潟県	習慣的に喫煙している者の割合(成人) 男性 女性	43.4% 8.2%	39% 5%	平成16年県民健康・栄養実態調査 ※禁煙希望者に対する禁煙指導による成功者の割合から算出。
16	富山県	〈喫煙している人の割合〉 男性 女性	54.4% 10.0%	45%以下 9%以下	平成11年度健康づくり県民意識調査
17	石川県	成人 男性 成人 女性 20歳代 男性 20歳代 女性 30歳代 男性	40.7% 8.5% 51.4% 16.4% 55.3%	31.4%以下 7.7%以下 37.0%以下 13.1%以下 43.9%以下	平成17年度県民健康・栄養実態調査 (目標 平成22年度)
18	福井県	成人の喫煙率(男性) 成人の喫煙率(女性)	45.8% 7.7%	45% 4%	平成16年度県民健康・栄養調査
19	山梨県	設定していない	—	設定していない	
20	長野県	〈喫煙している人の割合〉 男性 女性	34.4% 5.6%	32.0% 3.0%	平成16年度長野県県民栄養調査 ※やめたい人の割合(男性:17.7%、女性42.9%)が禁煙できたとした場合の目標値。

	都道府県名	指標の目安等	現状	目標	備考
21	岐阜県	設定していない	—	設定していない	
22	静岡県	喫煙習慣のある人の割合 (20歳代男性) 喫煙習慣のある人の割合 (20歳代女性) 喫煙習慣のある人の割合 (30歳代男性) 喫煙習慣のある人の割合 (30歳代女性)	57.3% 22.7% 54.8% 15.7%	50%以下 20%以下 50%以下 13%以下	
23	愛知県	20歳代男性の喫煙率 (%) 20歳代女性の喫煙率 (%) 30歳代男性の喫煙率 (%) 30歳代女性の喫煙率 (%)	38.2% 15.7% 46.8% 11.9%	19.1% 7.8% 23.4% 5.9%	愛知県「生活習慣関連調査」(平成16年) ※愛知県「生活習慣関連調査」(平成16年)で、喫煙者のうち半数以上が「すぐ禁煙したい」「禁煙したい」と答えたため、喫煙率半減の目標とした。
24	三重県	男 女	39.6% 8.1%	36.5%以下 9.0%以下	平成16年県民意識調査 ※目標値については、平成11年に設定した数値である。
25	滋賀県	〈喫煙している人の割合〉 男性 女性	42.9% 8.3%	半減	滋賀の健康・栄養マップ(平成16年度)
26	京都府	〈喫煙している成人の割合〉 男性 女性	54.8% 7.1%	現状以下	平成10年度府民健康づくり・栄養調査より
27	大阪府	〈喫煙している成人の割合〉 男性 女性	50% 19%	30% 5%	※平成17年5月調査
28	兵庫県	設定していない	—	設定していない	
29	奈良県	〈喫煙している人の割合〉 男性 女性	39.8% 13.3%	減少	平成16年度県民健康生活調査

	都道府県名	指標の目安等	現状	目標	備考
30	和歌山県	〈喫煙している成人の割合〉 男性 女性	51.4% 5.4%	30% 5%	平成13年県民健康・栄養調査
31	鳥取県	設定していない	—	設定していない	
32	島根県	〈喫煙している成人の割合〉 男性の喫煙率 男性の青年期（20～39歳）の喫煙率 女性の青年期（20～39歳）の喫煙率	36.9% 46.7% 7.7%	25.7% 25.0%以下 4.0%以下	平成16年度 島根県健康栄養調査 ※男性の喫煙率については、ベースラインの平成7年度県民健康調査における男性喫煙率51.3%を半減させた目標。
33	岡山県	設定していない	—	設定していない	
34	広島県	設定していない	—	設定していない	
35	山口県	〈成人の喫煙率〉 男性 女性	34.1% 4.4%	減らす	平成17年県民健康栄養調査
36	徳島県	〈成人の喫煙率の割合〉 総数 男性 女性	25.8% 47.2% 6.3%	減少	平成9年県民健康栄養調査
37	香川県	〈20歳代の喫煙率〉 男性 女性	60.0% 12.2%	減少	平成16年県民健康・栄養調査
38	愛媛県	〈成人の喫煙率〉 男性（20歳以上） 女性（20歳以上）	37.7% 4.2%	20%以下 2%以下	平成16年県民健康調査
39	高知県	男性 女性	49.6% 11.1%	「喫煙率半減」をスローガンに、喫煙率が大幅に減少するよう努める	健康に関する県民アンケート調査（平成13年7月）

	都道府県名	指標の目安等	現状	目標	備考
40	福岡県	〈成人の喫煙率〉 男性 女性	50.8% 8.3%	減少に努める	平成16年度いきいき福岡健康づくり基礎調査
41	佐賀県	成人男性 成人女性 20～40歳代男性 20～30歳代女性	48.9% 11.0% 62.6% 19.8%	45% 7% 低下 低下	平成14年度県民健康意識調査
42	長崎県	設定していない	—	設定していない	
43	熊本県	設定していない	—	設定していない	
44	大分県	〈成人の喫煙率〉 男性 女性	40.3% 4.4%	減少	平成16年度県民生活習慣実態調査
45	宮崎県	男性 女性	40% 6%	減らす	平成16年度県民健康・栄養調査
46	鹿児島県	設定していない	—	設定していない	
47	沖縄県	〈喫煙している成人の割合〉 男性 女性	37.6% 7.5%	30% 10%	現状値：平成15年県民健康・栄養調査 ※目標値については、平成12年に設定した数値である。

数値目標を設定している……………18府県(38.3%)

「減少」等の目標項目を掲げている……………13都道府県(27.7%)

喫煙率に関する目標項目を設定していない……16県(34.0%)

日本薬剤師会での新たな取組について

平成 18 年 6 月 13 日

(社)日本薬剤師会常務理事 飯島 康典

日 薬 業 発 第 1 5 号
平成18年4月19日

都道府県薬剤師会会長 殿

日本薬剤師会
会長 中西敏夫

「禁煙運動宣言」の改定について

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本会では、薬剤師は国民の健康を守る専門職として、禁煙の推進や受動喫煙の防止に積極的に貢献することが重要との観点から、平成15年4月9日の理事会において『禁煙運動宣言』を採択するなど、たばこ対策の検討・実施を進めてまいりました。

その間、平成15年9月9日には、第63回国際薬剤師・薬学連合（FIP）評議員会にて了承された声明「喫煙のない将来に向けての薬剤師の役割」において、「薬局内でのたばこ販売をやめさせるべきこと」が勧告され、また、平成17年2月27日には「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」が発効されるなど、たばこ対策は世界的に拡大しております。

これらの状況に鑑み、本会では、国民の健康の維持・増進に貢献すべき薬剤師の職能団体として、たばこ対策への一層の取り組み姿勢を示すべく、下記のとおり「禁煙運動宣言」を改定することとし、平成18年1月18日の本会理事会にて了承されました。

また、来る5月31日は「世界禁煙デー」であり、厚生労働省では、世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」と定めて普及啓発に注力しております。こうした取り組みにおいて、薬剤師には保健医療の専門家としての役割が期待されております。

つきましては、本件につき貴会会員にご周知賜りますよう、ご高配の程よろしくお願い申し上げます。

なお、本会といたしましても、ホームページへの掲載等を通じて、会員並びに国民への周知を予定しておりますので、申し添えます。

記

(下線部追加)

禁 煙 運 動 宣 言

平成15年4月9日 理事会採択

平成18年1月18日 一部改定

私達は、国民の健康を守るため、以下のような取り組みを進め、禁煙の推進・受動喫煙の防止に貢献します。

1. 国民の禁煙支援に積極的に取り組みます。
2. 特に妊婦・未成年者への禁煙啓発活動を行います。
3. 薬剤師の禁煙を徹底します。
4. 薬局・薬店内の禁煙を徹底します。
5. 薬剤師会館の全館禁煙を徹底します。
6. 薬局・薬店ではたばこの販売を行いません。

以 上